

自己資金検討ワーキンググループ（第2回）議事要旨

1. 日 時：令和7年12月19日（金） 17：00～18：00
2. 場 所：オンライン開催
3. 出席者：三枝信子主査、戸谷圭子委員、高山弘太郎委員、関谷毅委員

4. 議事次第

- （1）前回議事要旨（案）について
- （2）法人化後の会計構造等について
- （3）自己資金獲得に関する運用指針案及び具体的な自己資金獲得方策について
- （4）今後の進め方について

5. 配布資料

- 資料1 前回議事要旨（案）
- 資料2 法人化後の会計構造等について
- 資料3 自己資金獲得に関する基本指針（案）
- 資料4 日本学術会議の公平性、中立性を確保する上での外部資金の調達方策（案）について
- 資料5 参考人招致の候補の御提案
- 参考資料1 シンポジウム開催数（総会資料抜粋）

6. 議事概要

自己資金獲得に関する運用指針案及び具体的な自己資金獲得方策について議論を行った。主な意見としては以下のとおり。

- ・会員からの会費の徴収という可能性について、参考として、所属しているアカデミーでは会費で運営費を賄っていた。
- ・企業から賛助会費を徴収することについては企業へメリットを提示し続けなければならない点が難しいのではないかと。
- ・国会図書館や財団の政策提言に関する案件も資金獲得方策の一つとして考えられるのではないかと。
- ・専門分野によって、研究資金の規模感や、企業との関係等が異なるため、自己資金獲得に関する感覚も様々である。

（WGへの参考人の招致について）

- ・学術と社会を繋ぐ役割を通じて資金獲得するため、紙媒体を使って上手く学術情報発信事業を行い、学術の社会展開として異分野学会の取組を展開している企業から、その意義や方策について意見を聴きたい。
- ・経済系の団体や企業からの意見も重要である。企業に属する会員からの意見を聴くと良いのではないかと。

以 上